



茨城からJAグループを支えていく。
茨城のおいしいを伝えていく。



TOP MESSAGE

専務理事 寺山 正史

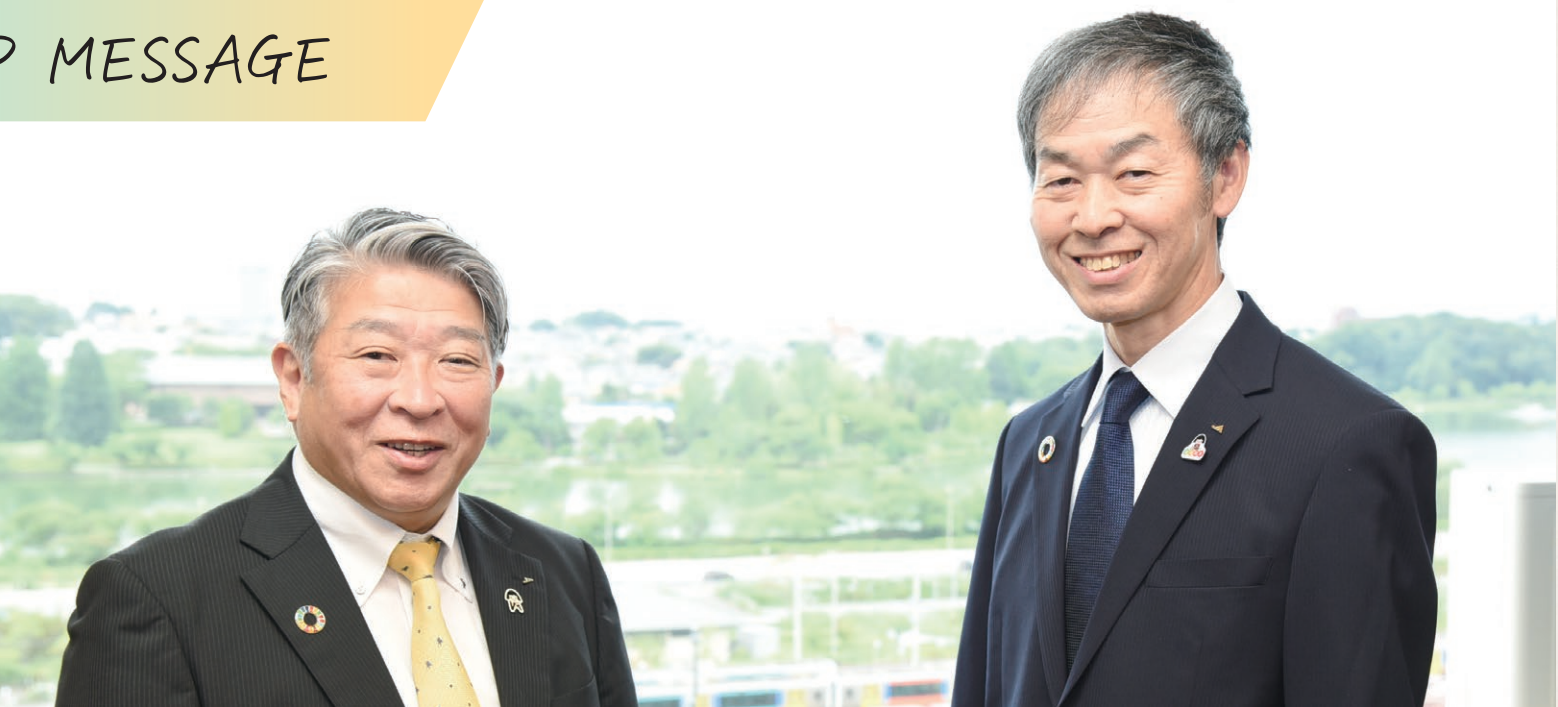
JA茨城県中央会は、県内JAグループの代表機関です。JAグループの意見を集約し、組織内外に向けた意思反映を行うとともに、グループ内の総合調整と経営相談、職員教育、情報システムの運営等、JAグループ茨城の中核として多種多様な事業を担う組織です。

このため本会の職員には会計法務、ITスキル等の知識はもちろんのこと、代表機能としての交渉力やコミュニケーション力、情報収集力等の高いスキルが必要とされます。

そこで、本会は常に向上心のある人財を採用するとともに、人財育成を最重要課題として取り組み、個々の能力開発、スキルアップのための資格取得に向けた支援を積極的に実施してまいりました。

また、近年は働き方改革を進め、女性活躍の場の拡大や若手の幹部職員への登用など人事制度の改革も実施しています。

将来のJAグループ茨城のリーダーとなる、向上心あふれる皆さまをお待ちしています。



常務理事 坂本 健一

JA茨城県中央会は、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、将来にわたり「魅力ある農業」と「安心して暮らせる豊かな地域社会」の実現に向け、茨城県内JAの健全な発展のため尽力している歴史ある組織です。各連合会と一体となってJA・組合員支援に取り組み、JAグループ茨城全体としての着実な実践と成果に繋げています。

日本の農業が重要な転換期にある今、本会はJAグループ茨城の仲間と多様な取り組みに挑戦しています。持続可能で高付加価値な茨城農業の実現と地域社会の未来へ、私たちと一緒にチャレンジしてみませんか！

JAグループについて

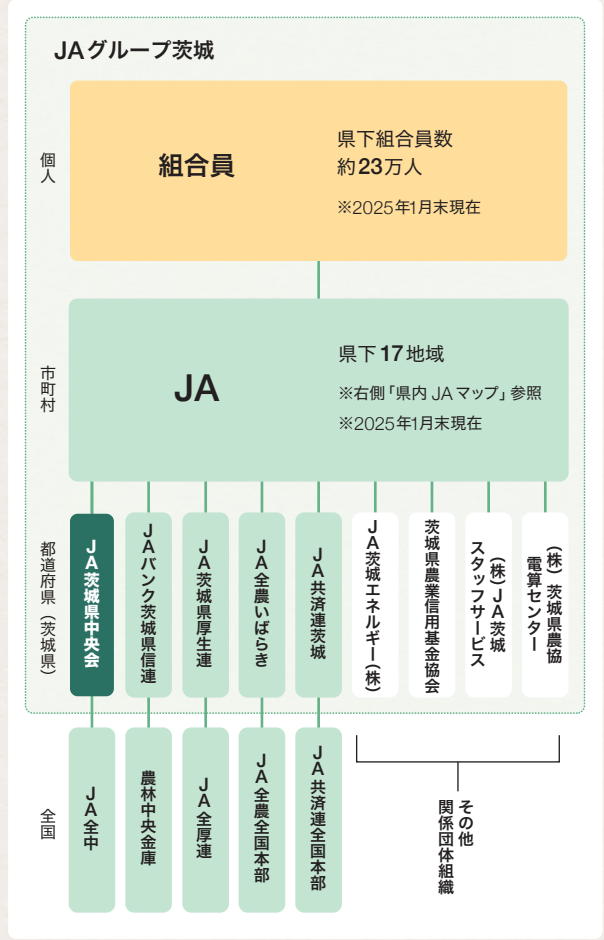
JAグループは、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活のために様々な事業を行っています。JAを補完して効率的・効果的に事業展開するため、信用・厚生・経済・共済などの事業ごと、さらに代表・総合調整機能を発揮する、中央会・連合会等が、都道府県単位及び全国単位にあります。JAと中央会・連合会等による事業組織が形づくられ「JAグループ」として活動しています。

茨城県農業協同組合中央会（JA茨城県中央会）について

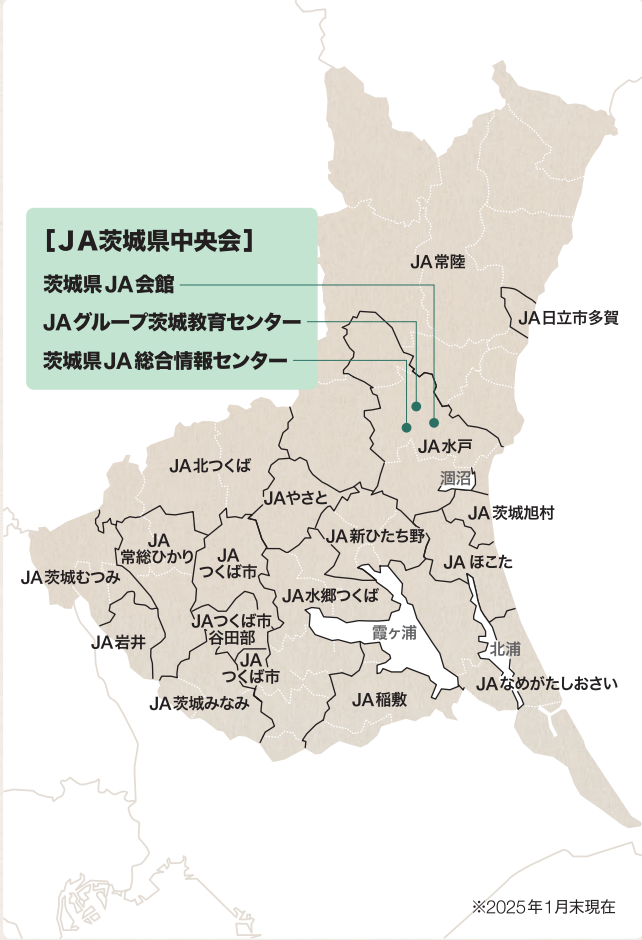


中央会 理念
茨城県農業協同組合中央会は、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を果たすため、JAグループ茨城の代表機能、総合調整機能、経営相談機能の3つの機能を誠実に果たし、地域農業の振興と豊かな地域社会の構築を目指します。

JAグループ【茨城・全国】



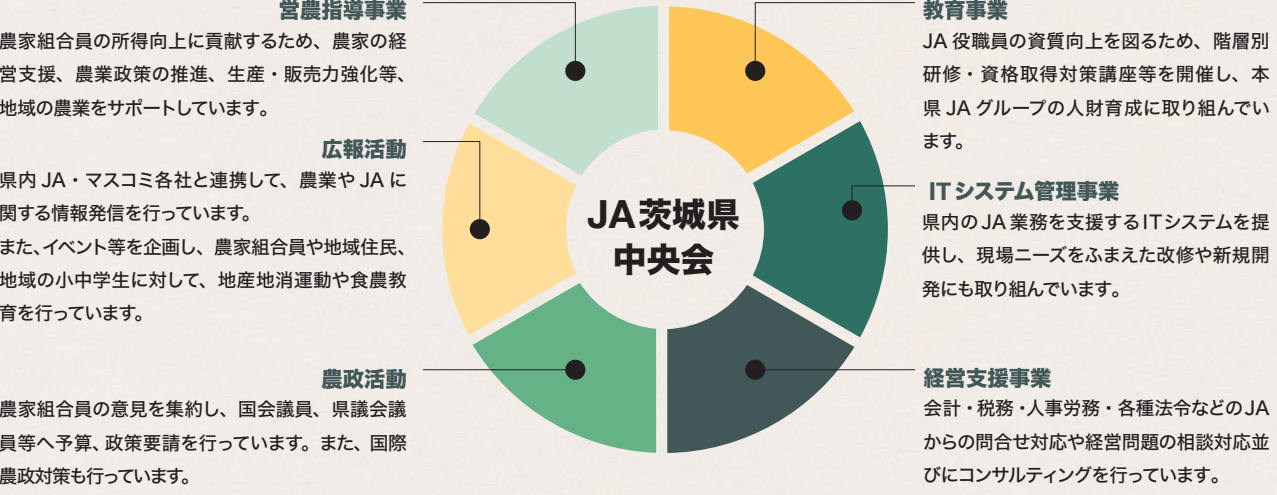
県内JAマップ



3つの機能

代表機能	総合調整機能	経営相談機能
組合員・JAの意思の結集・実現をはかります。国や県に対して政策の要請や、消費者に対しての情報発信等を行います。	地域・事業の枠を越えてJAグループの総合力を発揮します。JA・連合会・協同組合間および農業以外の各種団体との連携も強化し、地域に根ざしたJAグループ茨城を目指します。	創意工夫ある取り組みに積極的に挑戦するJAの組織・事業・経営を支援します。県内JA等に対し地域の実態に応じてコンサルティング業務を実施し、組織力・経営力を高め地域から信頼される組織を目指します。

6つの事業（活動）



各部署業務紹介



次長 和田 未悠（人文学部卒）2012年入会

年齢や性別に関係なく、若いうちから様々な経験ができる職場です。資格取得などスキルアップのための支援も充実していますよ。

総務部

総務部は、中央会のまとめ役であり、陰から支える縁の下の力持ちでもある2つの面を持つ部署です。基幹会議の運営から職員の採用活動、職員研修の管理など、業務は多岐にわたります。

採用活動については、学生からの意見を集約し、中央会業務を体験できるインターンシップの開催やYouTubeチャンネルでの情報発信をしています。

基本的には中央会内部に対しての業務が多く、各部署が円滑に業務を進められるようサポートしていく役割があるため、各部署の職員から頼られる部署でもあります。



関わる人・団体

- ・JA 役職員
- ・中央会職員
- ・就職活動学生 など



高木 翔太（国際食糧情報学部卒）2018 年入会

就職後も勉強すべきことは多くありますので、学生の間の勉強を無駄だと思わず、一生懸命取り組んでください。

共通総合室（教育センター）

JA グループ茨城教育センターは、主に役職員研修会の開催などを通じて、JA の人財育成支援を行っています。研修会は、階層別研修や選抜型研修など多岐に渡ります。

JA の業務に関する専門的な研修だけでなく、経営者のマネジメント能力向上やファシリテーター育成研修なども開催しています。また、職員認証資格試験や農協内部監査士試験の対策講座を実施し、JA 職員の資格取得支援も行っています。

当センターは、宿泊施設やサッカーグラウンドも併設しています。そのため、JA グループに留まらず、さまざまな方にご利用いただいています。農業や食に関するイベントの企画なども行い、地域の農業振興や食育にも貢献しています。



関わる人・団体

- ・JA 役職員
- ・施設利用者（各種団体や地域の方々など）
- ・茨城県サッカー協会 など

TOPICS

JA いばらきスポーツパーク



JA いばらきスポーツパークは、JA 茨城県中央会と（公財）茨城県サッカー協会の共同プロジェクトとして整備され、2023 年 4 月にオープンしました。JA グループ茨城教育センターに併設されているため、研修施設や宿泊施設を完備し、多くの方々にスポーツだけでなく、研修や会議・イベントなど多目的に利用いただいております。サッカーをはじめとするスポーツのイベントや大会・合宿などスポーツの拠点としてだけでなく、地域交流や食と農の情報発信

信基地としても活用されることを目指しています。豊かな自然環境と充実した設備が調和し、スポーツ振興や地域の活性化に大きく貢献しています。



URL: <https://www.ib-ja.or.jp/nouson/>
JA グループ茨城教育センター（JA いばらきスポーツパーク）(ib-ja.or.jp)

共通総合室

共通総合室は、JA グループ茨城のまとめ役として、グループ内の 5 つの連合会（JA 茨城県中央会・JA バンク茨城県信連・JA 茨城県厚生連・JA 全農いばらき・JA 共済連茨城）と県内 JA・関係団体の連携・調整を行う部署で、中央会の職員だけではなく各連合会の職員が働いています。

業務内容は、JA グループ茨城全体で行う会議や行事の企画・運営、そして JA グループ茨城の共通会長のスケジュール管理、秘書業務等を担っています。

学生のみなさんとかかわりのある業務としては、JA グループ茨城の採用支援、連合会合同の内定式、内定者交流会や研修会等を担当しています。

JA グループ茨城の統一広報を担っており、SNS（YouTube、X、Instagram、Facebook）や HP での情報発信をはじめとして、鹿島アントラーズや水戸ホーリーホック、茨城ロボッツなどの県内プロスポーツチームとの連携や日本農業新聞への記事掲載を行っています。

『持続可能で高付加価値な茨城農業の実現』のため、茨城の食と農を広く情報を発信する拠点「クオリテ Lab」の運営も共通総合室が担っています。YouTube や、プロスポーツチームでのイベントにおいて、企画を立案し、実際に撮影やイベントを実施します。仕事が形になった時にはとてもやりがいを感じることができます。

※統一広報に関する業務は、農政広報部へ移管しました。



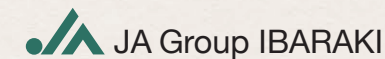
次長 齋藤 豪（経済学部卒）2020 年入会

たくさんの人に出会い、多種多様な交流を深めることができ、多くのことを学べる素敵な職場です。



関わる人・団体

- ・中央会・連合会各職員
- ・JA 役職員
- ・就職活動学生
- ・プロスポーツチーム
- ・マスメディア
- ・日本農業新聞
- ・茨城県国際交流協会 など



JA グループ茨城の取り組みや県内 JA のイベントの情報、農業の魅力を発信しています。

フォロー・チャンネル登録
よろしくお願いします！



TOPICS

クオリテ Lab



シヨンの場としても活用されています。



「クオリテ Lab」は、『持続可能で高付加価値な茨城農業の実現』に向けて茨城の食と農を広く発信する拠点として茨城県 JA 会館 1 階にあります。キッチンスタジオ機能や Wi-Fi などの通信環境を整備し、記者会見、シンポジウムなどのライブ配信、動画等の撮影、研修・セミナーのほか、農産物直売や料理教室、茨城県国際交流協会と連携した食を通じた国際交流、JA グループ内外の方のイベントなど、さまざまなひとが集まって交流するコミュニケー



URL: https://youtu.be/_2Hun55_E9M
【クオリテ Lab】
JA グループ茨城「クオリテ Lab」がオープンしました。



各部署業務紹介



次長 櫻井 美穂（農学部卒）2013年入会

中央会の仕事は、農業や地域に様々な視点からアプローチします。学生時代に学んだこと、得意なことを活かせる職場です。

農政広報部

農政広報部は、農家組合員やJAの声を国政や県政などに届けるための「農政活動」や地域住民が安心して暮らせる豊かな地域社会を確立する「地域対策」に関する業務を行っています。

「農政活動」では、茨城農業の更なる躍進を図るため、国や県の施策や予算についての情報を、いち早く農家組合員やJAに伝ええるとともに、JAグループの代表として、意見を集約し、国や県などの施策に反映されるよう、国会議員や県議会議員に働きかけを行っています。

「地域対策」では、女性・青年農業者の活躍促進や、食農教育の展開、他の協同組合と連携してフードバンクの取り組みや地元大学でのボランティア講座の開講など地域貢献活動に取り組んでいます。



関わる人・団体

- ・国会議員
- ・県議会議員
- ・農林水産業関係団体
- ・JA青年部
- ・JA女性部
- ・小中学校
- ・各種協同組合 など

県営営農支援センター（農業経営支援室・農業企画室）

農業経営支援室は、農家を直接・間接的にサポートすることで、全国第3位の農業産出額を誇る茨城県の農業の発展を目指しています。

直接的なサポートには、農家と1対1で面談した中での税務申告の支援があります。簿記による会計の記帳代行、決算書・確定申告書の作成支援など、農家の事務負担を軽減し、現場での農業に専念してもらう取り組みです。

農業企画室では、各地域で農家の経営改善・技術向上をサポートしているJAの営農指導員に対して、県内外の優良事例や最新技術を会議・研修会等で共有することで、農家の生産力強化に繋がっています。

他にも法人の設立支援、食の安全・安心対策、農業の人材確保など、農業の現場と向き合った仕事に取り組んでいます。



関わる人・団体

- ・農家
- ・行政（茨城県農林水産部門）
- ・JA職員（営農部門） など



次長 神山 洸（理工学研究科卒）2010年入会

若いうちから様々な人と出会い、多くの経験が積める職場です。茨城の農業をともに支えていきましょう。



経営支援室

室長 坂本 崇吉（農学部卒）2007年入会

就職活動を通じた組織や企業、人との出会いを大切にしてください。出会いから想像していなかった新たな道が開けるかもしれません。

経営支援部

経営支援部は、持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向け、県内17JAの「経営相談」と「情報システム提供」を行っています。

JAは、①農協法等の関係法令を遵守し協同組合組織としての活動 ②金融や商取引等のルールに基づいた事業運営 ③一般的な会計基準や税法法令等に基づいた経営管理を行っています。「経営相談」は、これらの適正な運用を支援する仕事です。

また他企業と同様に、JAの事業運営や経営管理を効率的に行うにはデジタルの力が不可欠です。「情報システム提供」は、JAが業務の生産性や精度を高めるために経営相談の課題をふまえた適切なIT技術のサービスを提供する仕事です。

中央会は、これらの活動でJAの適正水準の利益の把握（確保）と、組合員への利益還元を支援しています。

県営営農支援センター（農業政策推進室）

農業政策推進室は、水田農業政策に関する事業を行う部署です。具体的には米の需給調整や地域農業を支える担い手組織の基盤強化支援などを担当しています。

米の需給調整では水田農業政策対応の一環として茨城県と連携して茨城県農業再生協議会の事務局として運営に参加し、県内JAのみならず、系統外の様々な関係者に向けての情報を発信しています。

他の部署よりも行政機関の方と接する機会が多い部署ですので、内部からの視点だけではなく、外部からの視点ということも意識して仕事に接しています。

地域農業を支える担い手組織の基盤強化支援では生産性向上を目的としたスマート農業技術の導入普及に向けた取り組みをしています。



関わる人・団体

- ・茨城県農林水産部
- ・関東農政局茨城県拠点
- ・日本農業新聞
- ・JA
- ・地域再生協議会
- ・農業総合センター
- ・地区農林事務所
- ・米穀集荷業者 など



次長 渡辺 宰（法学部卒）2012年入会

学生時代にしか出来ないことがたくさんあると思います。今できることを精一杯やって後悔のない学生生活をお過ごしください！



内部管理態勢支援室

川又 友紀（畜産学部卒）2017年入会

業務が幅広いため、どのような学部を卒業していても活躍でき、キャリアアップできる職場です。



DX推進室

黒岩 祐汰（総合政策学部卒）2021年入会

就職活動の中で悩みや不安が出てきますが、友達や両親に相談して後悔の残らないように頑張ってください。



関わる人・団体

- ・JAの経営層（常勤役員、幹部職員）
- ・JAの監事（役員の職務執行状況を監督・監査する役職、一般事業会社という監査役）
- ・JAの主干事務を行う職員 など

TOPICS

職員共済会

職員同士の親睦と、職員の福利厚生の充実、慶弔時や災害時に職員を助けることを目的としてつくられた組織で、職員から負担を受け取って運営しています。目玉企画は職員旅行となっています。

職員旅行（共済会旅行）

全職員や部署ごとに旅行をするのではなく、行きたい場所に人数を集めて旅行をするというのが本会の共済会旅行の特徴です。国内ではディズニーリゾートや沖縄、海外ではオーストラリアやグアムなど、行先も様々です。



JA+トラベル

中央会職員が県内各地の施設を利用し茨城県の魅力を発見することで、地域の活性化や貢献に繋がろうと令和5

年度から開始しました。茨城県内で実際に足を運んで体験した経費（観光施設の入場料や直売所での購入品等）を一定額助成します。

入会1年目から見た中央会

改革支援部（JA改革支援室）
けんもく しょうと
見目 翔佑
総合政策学部卒

農政・地域対策部
てるめま し ほ
照沼 志帆
人文社会科学部卒

総務教育部
とほし ななみ
戸星 七海
国際学部卒

※所属部署名は入会当時のものです。
共通総合室
やたがわ しんたろう
谷田川 真太郎
総合政策学部卒

Q 中央会に入会したきっかけ、中央会を選んだ決め手は？

A **照沼**：地元である茨城県が大好きで、貢献したいという思いがありました。茨城県は農業産出額3位の「農業大県」です。強みである農業を盛り上げていければ、少しでも地元への貢献に繋がるのではないかと。茨城県の農業全体を支えたい。そんな思いで中央会への入会を決めました。

Q 仕事をしていて嬉しかったことは何ですか？

A **谷田川**：プロスポーツチームと企画・準備・運営をしたイベントが成功し、訪れたお客さんに「楽しいイベントをありがとう」「また来年もやってほしい」と感謝の言葉をいただいたことです。

Q 社会人と学生の違いは何だと思いますか？

A **見目**：時間の使い方です。学生の間は自由に使える時間が多いですが、社会人になると、時間が足りないな…と感じます。そのため、やるべきこと、やらなくてはいけないことがあったら後回しにせず、すぐに取り組んで、時間を作る癖をつけておきましょう。

Q 中央会の雰囲気や良いところを教えてください

A **戸星**：福利厚生がしっかりしていて、自分のスキルアップやリフレッシュに繋がる制度が多いところが魅力です。特に、入会直後は、先輩職員とご飯を食べに行きながら業務相談ができるトレーナー制度に非常に助けられました。
谷田川：中央会は業務でわからないところがあったら、何でも聞きやすい温かい雰囲気です。また、年齢に関係なく職員同士の仲が良いことが良いところだと思います。

Q 社会人になった今だから思う、学生時代にやっておいた方がいいことは？

A **【学習面】照沼**：しっかり勉強した方がいいと思います。学問に向き合えるのは学生のうちだけなので、その特権を利用して、日々の授業やゼミ活動などに全力でぶつかってみてほしいです。胸を張って「頑張った!」といえる経験を手に入れば、社会人は何も怖くありません！
【学習以外】見目：好きなものは苦しくなろうとも必ず結果が出るまで継続してください。その過程はいつか必ず認められます。あとは遊びましょう。

Q どんな大学生生活を過ごしてきましたか？

A **戸星**：とにかくアクレシブに過ごしていました。海外でのインターシップ型スタディツアーに参加したり、1カ月をかけ日本を1周したり。学生のうちに何をしたいか目標を決め、様々なことに挑戦しました。このバイタリティが働く上でも非常に役に立っています。

就活生へひとこと



見目：就職活動で一番大事なのは、具体的なビジョンを持って活動することだと思います。夢をつかむためには小さくても具体的な目標を設定することが大事です。その目標を達成し、夢の実現に向けて頑張ってください。応援しています。

照沼：就活も人生の選択のひとつです。今後の人生、どう生きるか。そんなことも考えながら、ぜひ悔いのない選択を！そして、悔いのない大学生活を！応援しています。

戸星：就職活動で最も大事なのは「ここで働きたい!」という強い意志だと思います。時には辛いこともあると思いますが、最後まで諦めず自分を信じて頑張ってください。一緒に働けることを楽しみにしています！

谷田川：就活は運やタイミングも重要な要素です。結果で一喜一憂せず、茨城の美味しい農作物をたくさん食べて、前向きに頑張ってください！

入会1年目 1日のスケジュール

【総務教育部のスケジュール】

8:00 9:00 10:00 12:00 13:00 17:15

出勤 メールチェック、部内ミーティング、会議準備 全職員会議（司会・進行） 昼食 新卒採用業務 職場案内作成（業者対面打ち合わせ） 退勤



【共通総合室のスケジュール】

8:00 9:00 10:00 12:00 13:00 17:15

出勤 メールチェック、会議資料作成 YouTube 撮影 昼食 プロスポーツチームとの打ち合わせ 退勤



【農政・地域対策部のスケジュール】

8:00 9:00 12:00 13:00 17:15

出勤 新聞・メールチェック、食農出張授業打ち合わせ 昼食 ごはん・お米とわたし作文・図画コンクール作品募集の資料作成 退勤



【改革支援部（JA改革支援室）のスケジュール】

8:00 9:00 12:00 13:00 17:15

出勤 JAの実践支援に関する打ち合わせ・資料等作成 昼食 県内JA出張、報告書作成 退勤



教育制度

新採職員から管理職職員まで、キャリアに合わせた職員教育を行っています。取得すべき資格については、事前の研修への参加など資格取得に向けた学習環境を整備しています。

この他にも、公認会計士や、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士資格取得に向けたサポートも手厚く実施しています。

入会年数	研 修	資 格
1 年 目	■JA現地研修 県内JAにて2週間程度様々な業務の研修を行います。 ■JA中央会新採職員研修 全国の中央会の同期と会える貴重な研修です。 ■初級職員研修 仕事の進め方やコミュニケーションなどを学びます。	■JA職員基本認証「初級」 JAグループや農業情勢についての試験です。 ■農協内部監査士検定試験 組織の経営健全性をチェックする資格を得るための試験です。
10 年 目	■中堅職員研修 中堅職員として求められるスキルについて学びます。 ■コア人材研修 将来のJAのリーダーとなる人材を育成する研修です。	■JA職員基本認証「中級」 中堅職員に求められる知識に関する試験です。 ■農協監査士資格試験 JAグループ組織の経営健全性をチェックする資格を得るための試験です。
15 年 目	■監督者研修 監督者としての役割を学ぶ研修です。 ■管理者研修 部下を指導する立場になった人が参加する研修です。	■JA職員基本認証「上級」 管理者に求められる知識に関する試験です。
全職員 対象	■全職員研修 中央会で働く職員が働きやすい環境を作るために毎年開催しています。 ■コミュニケーション研修 コミュニケーションの基礎を学ぶ研修です。	■JA職員基本認証「特級」 上級管理者に求められる知識に関する試験です。

協同組合活動

中央会は、相互扶助の精神に基づいた組織です。相互扶助というのは、助けあいの考え方で、この考え方に基づいて、様々な活動を行っています。本会だけでなく、他の協同組合と連携して活動することもあります。その一例を紹介します。

111 協同活動（1事業所、1役職員、1協同活動）

JAグループとして、地域を豊かで元気にする運動に取り組んでいます。本会では、111 協同活動として、地域に貢献する活動をしています。

ユニセフ協会と連携し外貨コインを仕分け各国へ募金する取り組みを行ったり、地域の公園や施設の除草作業等の清掃活動を行ったりしています。

ボランティア活動

地域に貢献する取り組みとして、ボランティア活動に取り組んでいます。台風など自然災害が発生した際には、県内のJAや連合会にも呼びかけ、被害があった地域の復興のために活動をしします。



福利厚生

働きやすい職場環境づくりのため、中央会では健康やリフレッシュに関する制度、スキルアップに関する制度、職員同士の親睦を図るための制度など、様々な制度の活用に取り組んでいます。

カフェテリアプラン

働きやすい職場づくりを目的として、健康管理対策やワークライフバランスの実現、リフレッシュに関する費用を助成する制度です。

病院の診療代や薬代、旅行の費用やテーマパーク等の入園・入館・入場にかかる費用、美容院代など、幅広く助成の対象となっています。

職員は、年度はじめに一定額分のポイントが付与され、助成対象範囲内で自由に利用することができます。

トレーナー制度

新規採用職員の仕事に関する日頃の悩みを少しでも軽減し、職場や業務への早期適応を図るため、OJTの一環としてトレーナー制度を設けています。

入会2年目から3年目程度の若手職員がトレーナーとなり、新規採用職員と1対1で日常の相談対応と定期的な面談を実施しています。また、一緒に事務所の外へランチを食べに行くこともあります。

自己啓発制度

職員のスキルアップを目的に、資格の取得や通信教育にかかる費用を一定額助成する制度です。

昇級に必要な通信教育の受講をはじめ、簿記の知識の習得や、税理士・公認会計士などの自主的に取得する資格についても研修の費用が助成されます。

毎年、多くの職員がこの制度を利用して、自身の能力向上に努めています。

採用データ

給 与	大学卒 月給 220,000 円 勤務時間 9:00～17:15 在宅勤務制度あり 時差出勤制度あり ・ 8:00～16:15 ・ 10:00～18:15
-----	--

休 日	完全週休2日制、祝日、年末年始
-----	-----------------

休 暇	年次有給休暇	採用年:13日・2年目以降:20日
	夏期休暇	5日間（7月～9月）
	特別休暇	忌引・結婚・出産等
	リフレッシュ休暇	5年目以降5・10・15年勤務時は連続3日間 20・25年勤務時は連続5日間
	育児・介護休暇等	

福 利 厚 生	労災保険・健康保険・雇用保険・厚生年金 定期健康診断・インフルエンザ予防接種 通勤手当・住宅手当・子ども手当・資格手当 等
---------	---

職 員 数	男性 36 名 女性 15 名
-------	-----------------

採用人数	2025 年 1 名 2024 年 1 名 2023 年 4 名 2022 年 2 名
------	--

勤 務 地	茨城県 JA 会館 水戸市梅香 1-1-4 茨城県 JA 総合情報センター 水戸市小吹町 2461-1 JAグループ茨城教育センター 水戸市下国井町 2201-1
-------	---

（2025 年 4 月 1 日現在）



勤務地紹介



JAグループ茨城教育センター
水戸市下国井町 2201-1



茨城県JA会館
水戸市梅香 1-1-4



茨城県JA総合情報センター
水戸市小吹町 2461-1



問い合わせ先

茨城県農業協同組合中央会（JA茨城県中央会）
〒310-0022
茨城県水戸市梅香1丁目1番4号 茨城県JA会館 3F

採用に関するお問い合わせ

総務部 | TEL : 029-232-2068
E-mail : kikaku-chuo@ib-ja.or.jp
URL : <https://www.ib-ja.or.jp/chuokai/>
JA 茨城県中央会 | JA グループ茨城 (ib-ja.or.jp)

